



Chitose Rotary Club

今村会長テーマ
“人・地域に思いやる心”

会長 今村 静男 副会長 藤本 敏廣 幹事 酒井 宏
会長エレクト 村田 研一 会計 沼田 常好
第2510地区ガバナー 熊澤 隆樹 第7グループ・ガバナー補佐 大坂 直人

～ 11月はロータリー財団月間 ～

本日の例会 (11月24日 第21回) 通常例会

担当: SAA・プログラム委員会
～ANAクラウンプラザホテル千歳～

2011年～2012年度
第20回 (通算2192回) 例会報告

日時: 2011年11月17日 18:30～20:00
場所: ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム: 夜間通常例会
担当: 会員増強、R財団・米山記念奨学委員会
司会: SAA・プログラム委員長 下山 徹哉

四つのテスト



会員増強委員長 佐々木 昭

お客さま紹介

地区米山記念奨学委員長
黒澤 勝昭 様
(札幌南RC)



会長挨拶

会長 今村 静男

先週は、職業奉仕委員会主管の「㈱デンソーエレクトロニクス企業訪問例会」に多くの会員皆さんの参加をいただき、ありがとうございます。また、今日は地

区の米山記念奨学委員会の黒澤委員長にお越しいただき、「米山記念奨学会の現状」についてお話を頂戴します。

当クラブは毎月第3週目の例会は「夜間通常例会」となっておりますが、今宵はボジョレー・ヌーボーの解禁日と重なっておりますので、例会ではボジョレーを飲み交わしながら楽しく、大いに語り合っていただけるものと思っています。

会員増強につきましては、特別委員会のリーダー及びサブリーダーが中心に新会員発掘と入会勧誘を図っておりますが、新規入会一名をはじめ、候補者数名について入会の手続きに入っています。一定の成果を見ておりますが、今月末を目標に頑張ってくださいようお願い致します。

国際ロータリーニュースの「毎年あなたも100ドルを」のニュースレターでは、財団を支援する理由として、①ポリオ撲滅 ②基本的教育と識字率向上 ③平和と紛争解決の推進 ④子どもの死亡率の削減 ⑤飢餓との闘い、がトップ5となっています。世界でも地域においても良いことをする方法がありますが、世界的にはロータリー財団を通じて支援する方法がたくさんあると示唆しております。会員皆様のご理解をお願いします。

幹事報告

幹事 酒井 宏

本日は、変則的な夜間例会を行っておりますが、会員皆様のご協力をいただき、スムーズに進めて参ります。ご協力をお願い致します。

(1)今月は「ロータリー財団月間」です。ロータリアンは、例会や地域社会の会合等でロータリー財団を含めて、ロータリーを語っていただくようお願いします。



- (2)「タイ大洪水への義援金」について、各テーブルに募金箱を置いてあります。ご協力をお願いします。
- (3)11月20日（日）開催の「長沼RC創立20周年記念式典・祝賀会」への出席者は、当日12時30分ANAホテル集合、12時35分出発となっています。
- (4)千歳・北栄小学校スクールバンド第31回定期演奏会が、12月10日に市民文化センターにおいて開催されます。五十嵐年度時には支援活動をしておりますが、同校は北海道大会では金賞を獲得する常連校で、全国大会にも出場しているレベルの高いスクールバンドです。入場無料ですので、興味があります方は是非観賞して下さい。

ゲスト卓話

地区米山記念奨学委員長 黒澤 勝昭 様（札幌南RC）



ロータリー米山記念事業は、ロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。奨学金を出しっぱなしではなく、「世話クラブ」そして「カウンセラー」制度をとって奨学生をサポートしています。年間の奨学生は約800人、年間の事業費は14億3千万円（2010年度）で国内最大の奨学事業です。これまでの半世紀で、世界120の国と地域に亘り、奨学生数は累計16,389名（2011年7月現在）にのぼります。全て寄付金で賄っており、昨年は1億1千万円の赤字で2年連続して特別積立財産を取り崩しています。

年間800人の奨学生を維持するためには14億5千万円の事業費が必要になりますので、取り崩しをしないための一人当たり平均寄付額は16,000円となります。10-11年度全地区個人平均寄付額は14,600円でしたので増額が必要です。2510地区個人平均寄付額は10,047円（34地区中24位）だったため16,000円を目指して努力したいと思いますので、地区ロータリアン皆様のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。



“心”を伝える奨学制度

●世話クラブ・カウンセラー制度

クラブの人たちの優しさと活動を知り、自分でもチャイルドスポンサーをはじめました

一番大切な、人生の生き方と価値観を教えた

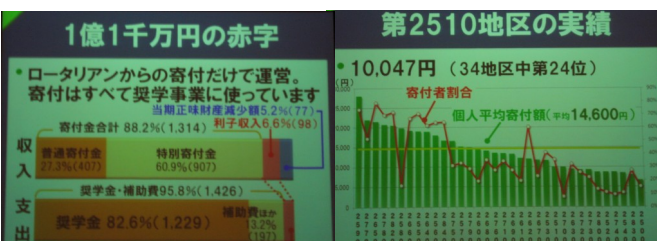
「四つのテスト」は、帰国後も私の心の中に生き続けています

●日本のロータリーが世界に誇る独自の国際貢献事業

●留学生の奨学団体で民間最大、事業規模No.1！

●平和を求めるロータリーの心を留学生に伝え、世界の平和と発展に貢献します

受け継がれた米山の灯を次の世代に



ご寄付のお願い

●2011-2012年度

●地区の寄付目標額

1人当たり

16,000 円

寄付のメリット

●所得税(個人)、法人税(法人)の税制優遇

●普通寄付金にも適用可能 ※ただしクラブからデータ提供が必要

年間 **2,000円** から！

所得額1,000万円の方が10万円寄付をすると、**3万2,340円** 所得税が軽減されます

活躍する米山学友①

駐日韓国大使になった学友

権哲賢 (クォンチョルヒョン) 氏

2008年～2011年6月まで第18代駐日韓国大使。3.11後、32の在日大使館が壊々と閉鎖や避難するなか、権氏が率いる韓国大使館は東京にとどまった。

学友会でつながる絆

米山学友会

○今村会長謝辞

本日は地区米山記念奨学委員会 黒澤勝昭委員長にはお忙しい中、天候の悪い中にもかかわらず、札幌からお越しいただき、「米山記念奨学会の現状」について分かりやすく、お話をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

米山記念奨学会は、勉学や研究で我が国の学校や研究機関において在籍する外国人留学生を年間800人ほど受け入れ、その奨学支援に14億円が必要とのこと、たいへんな事業であります。多くの成果を上げているとこことで、改めてクラブ会員として寄付金の必要性を痛感したところです。

今後、地区の方針に沿った活動をしていくよう、会員一同、奨学事業に努力したいものと思っております。黒澤委員長、本日の卓話、ありがとうございます。



ロータリー情報

国際奉仕委員長 五十嵐 宏

今月は、「ロータリー財団特別推進月間」です。ロータリー財団・米山記念奨学委員会 佐藤彰二委員長が入院中でありますので、代わってロータリー情報として「ロータリー財団の父 アーチ・クランプ」についてお話しします。

アーチ・クランプはRI6代目の会長ですが、貧しい少年期を経て、アメリカ・オハイオ州クリーブランドで実業家として大をなした立志伝中の人物です。彼は、フルート奏者であり、スポーツマンとして活躍していましたが、ロータリーに入会以降は、定款起草や



「地区制度」を設け、年次地区大会を確立するための書類作成責任者でもありました。

また、標準ロータリークラブ定款と細則を草稿し、1915年に採択され、ロータリー草創期に尽力され、ロータリー発展に貢献した方で、「寝ても覚めてもロータリー人間」で根っからの「ロタキチ」と言われています。当初、「非常時基金」として提案され、その後、「ロータリーが基金を作り、何か良いことにしようではないか」と議論されたと言われています。

アーチ・クランクが「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしよう」と国際大会で提案、数カ月後に、この新しく誕生した基金は米貨26ドル50セントの最初の寄付金から始まり、その基金がやがてロータリー財団に発展したものです。

奉仕の理想は、人々をつなぐ真の絆です。単に良いことをするだけではなく、人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言語、異なる食事をし、異なる衣類を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人と人を結びつけるには強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が「超我の奉仕」という理想です。人々の役に立つ具体的な活動をしているのがロータリー財団です。

委員会報告

会員増強委員長 佐々木 昭

本日の例会は「会員増強委員会」の担当例会となっています。今月いっぱい会員増強特別委員会が終了となります。残っている仕事は余すことなく、すべて仕上げて解散してください。まだ中間なので発表は止めて、来年2月23日の例会時に各グループの代表に成果を発表していただくことにします。現状、非常に精力的に活動していることに感謝申し上げます。



永年表彰

30年表彰 上井 昭一 パスト会長

10年表彰 今村 静男 会長

※本日出席者



ボジョレー・ヌーボーの会の模様

○乾杯

佐藤 秀雄 パストガバナー



美味しいボジョレー・ヌーボーに乾杯!!



美味しいワインに皆ニコニコ

パスト会長会議開催

○第2回パスト会長会議開催

11月14日（月）、西洋軒においてパスト会長はじめ、現会長、会長エレクトなど12名が出席して第2回パスト会長会議が開催されました。この会議は、会長経験者から年度のクラブ運営についての指導を受けるために、毎年恒例的に行われています。

冒頭、今村会長から「クラブの舵取りとして4ヶ月余、137日が過ぎた今、先輩であるパスト会長の皆さんから本年度のクラブ運営について評価と今後の活動など忌憚ないご意見をいただきたい」との挨拶がありました。

続いて各パスト会長からは、「今まで通り自分の信念でクラブ運営を」「ロータリーの良いところは一年で終わること。思うままに・・・」「執行部は頑張っている。そのままでよいのではないか」との激励が多く寄せられました。反面、運営に当たって「改善や見直しすべし」との意見があり、論議の末、早急に対応策を検討することとなるなど、活発な意見交換があり、有意義な会議となりました。（S）



長沼RC創立20周年記念式典への参加

○長沼RC創立20周年記念式典・祝賀会に31名登録



長沼RC創立記念式典・祝賀会が、11月20日（日）13時30分から長沼町総合保健福祉センター「りふれ」において、当クラブからの31名をはじめ、地区役員、来賓及びロータリアン等、総数で157名が登録されて行われました。

記念プログラムの公開講座では、町民約60名の出席があり、地区PG 小林博氏（札幌がんセンター理事長、北海道大学名誉教授）が、「がんと人間の幸せ」をテーマに講演がありました。

記念式典では、記念事業として「一般公開講座」「RI奉仕活動パネル展」「長沼町図書館へロータリー文庫基金30万円の寄付」が発表されました。引き続き、長沼RC高橋義博会長の挨拶、来賓祝辞、スポンサークラブ恵庭RCに記念品の贈呈がありました。

引き継ぎ行われました記念祝賀会は、当クラブの佐藤PGの乾杯から始まり、余興では地元バンド

「jackBox」の演奏があり、最後、地区代表幹事杉江俊太郎氏の万歳三唱で閉会されました。（S）



公開講座で 小林博PG（札幌北RC）＜左＞



長沼RC高橋会長挨拶 元気よく、“ヒヤァー”



熱燗組、最高(^ ^)! “手に手つないで” ㄨ ！

出席率

今 回：59.3%（11月17日＝32／54、実数）
確 定：57.4%（10月27日＝31／54、うちメーキャップ2名）

ニコニコBOX

地区米山記念奨学委員長 黒澤 勝昭（札幌南RC）様
米山記念奨学事業にご協力をお願い致します。

今村 静男 会長

「女性のためのゴルフコンペ」無事に終わりました。

中山 和朗 会員

かみさんに、お花をありがとうございました。

大澤 雅松 会員

デンソー移動例会に多くの出席ありがとうございます。また、乗り合わせの車を出して下さった榊原会員、沼田会員、宮本会員に感謝申し上げます。

加藤 正浩 会員

15日から弊社ホームページの「でんき予報」がリニューアルしました。日々の供給余力や電力使用状況をイラストやグラフでより分かりやすく表示するとともに、省エネ方法も紹介していますので、ご覧下さい。

川端 清 会員

妻の誕生日、きれいなお花ありがとうございます。

本日のニコニコ集計 6名 合計 10,000円

スケジュール

12/1（木）移動（昼間）例会（駒そば亭）

[担当：健康、出席・資料管理委員会]